

星陵会館ホール(星陵会館 2階)案内図

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-16-2

電話 03-3581-5650

ホームページ <http://www.seiryokai.org/kaikan/map.html>



●交通ご案内

- 東京メトロ有楽町線、半蔵門線、南北線 永田町駅6番出口より 徒歩3分
- 東京メトロ千代田線 国会議事堂前駅5番出口より 徒歩5分
- 東京メトロ南北線 溜池山王駅5番出口より 徒歩5分

参加希望の方は、12月8日(金)までに当センターのホームページ (<http://www.rwmc.or.jp/>) からお申し込みいただくか、同封の用紙に必要事項を記入の上ファクシミリにてお送りください (03-5550-9116)。

なお、定員 (200名) になりましたら、申し込みを締め切らせていただきますので、ご了解ください。

公益財団法人 原子力環境整備促進・資金管理センター
(原環センター) 企画部

〒104-0044 東京都中央区明石町6番4号

(ニチレイ明石町ビル12階)

電話 03-6264-2111(代表) FAX 03-5550-9116

ホームページ <http://www.rwmc.or.jp/>

RWMC

平成29年度

原子力環境整備促進・資金管理センター

(原環センター)

研究発表会

◆日時：平成29年12月15日(金)
13:45~16:45(13:15開場)

◆会場：星陵会館ホール
(星陵会館 2階)
東京都千代田区永田町2-16-2

公益財団法人 原子力環境整備促進・資金管理センター

RADIOACTIVE WASTE MANAGEMENT
FUNDING AND RESEARCH CENTER (RWMC)

ご 案 内

平成29年11月

弊センターは、昭和51年10月の設立以来、関係各位のご指導、ご支援を賜りながら、放射性廃棄物の安全かつ合理的な処理処分の実現に求められる様々な試験、研究、開発、調査等を推進し、その成果の普及に努めてまいり、昨年度には創立40周年を迎えることができました。

本年度は、心を新たに、平成29年度原環センター研究発表会として、弊センターの調査研究成果の一端の報告と東京大学大学院工学系研究科 小松崎俊作講師による特別講演「放射性廃棄物処分における個人の態度形成と社会的意識決定－社会的側面に関する研究課題－」を企画いたしました。

ご多忙中とは存じますが、皆様のご来駕をいただきたくご案内申し上げます。

公益財団法人 原子力環境整備促進・資金管理センター
理事長 高橋 彰

特別講演概要

高レベル放射性廃棄物処分は単に技術的な問題ではなく、信頼や公平性、国家的アジェンダ・セッティングなどといった社会的側面を有する政策課題である。事業を進展させるためには、技術と制度の整備に加えて、こうした社会的側面に関する研究とそれに基づく実践が必要であろう。

本講演では、社会的側面に関する研究の一例として、まず処分関連施設の受け入れに対する人々の態度形成過程について、日仏韓のケーススタディに基づく成果を紹介する。また、2011年3月の東日本大震災、福島第一原子力発電所事故が、態度形成過程に与えた影響について、社会心理学的観点から調査・分析を行った成果にもふれる。最後に、高レベル放射性廃棄物処分の社会的側面に関わる研究課題を俯瞰した結果も紹介する。

講師紹介

1980年徳島県生まれ。2003年東京大学工学部土木工学科卒業、2005年ニュージャージー州立ラトガース大学修士課程修了（政策科学）、同博士課程（行政学・公共政策）を経て、2007年東京大学大学院工学系研究科特任研究員。2012年東京大学にて博士号（工学）取得。同年東京大学大学院工学系研究科助教、2014年同講師（現職）。

2008年から、東京大学大学院工学系研究科 堀井秀之教授らとともに、高レベル放射性廃棄物処分の社会的側面に関する研究を推進。

プログラム

開 会 (13:45)

1. 挨拶 (13:45~13:50)
理事長 高橋 彰

2. 研究発表
(1)セメントとベントナイトの相互作用の
ナチュラルアナログ調査 (13:50~14:30)
処分材料調査研究プロジェクト
プロジェクト・マネジャー 藤井直樹

(2)ドイツにおける放射性廃棄物管理の現状
(14:30~15:10)
技術情報調査プロジェクト
プロジェクト・マネジャー 徳島秀幸

休 憩 (15:10~15:30)

3. 特別講演
放射性廃棄物処分における個人の態度形成と社会的
意識決定－社会的側面に関する研究課題－
(15:30~16:45)

東京大学大学院工学系研究科
社会基盤学専攻
国際プロジェクト研究室 講師 小松崎 俊作氏

閉 会 (16:45)